

記 載 例

第 1 号様式（第 5 条関係）

区民活動支援事業補助金交付申請書

申請日を記入
してください

(宛先) 伏見区長	平成 年 月 日
申請者の主たる事務所の所在地 〒 - ●●市○○区△△△町×番地	申請者の名称及び代表者名 ●●●●の会 代表者名 会長 伏見 太郎 電話 () -

団体代表者の印

印

伏見区区民活動支援事業補助金交付要綱第 5 条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり補助金の交付を申請します。

誰もが理解できる分かりやすい名称を御記入ください。第 2 号様式と第 3 号様式の事業名と一致させてください。

事業名	□□□事業
実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日
必要事業経費 (A)	XXXXXXXX 円
労力換算額 (B)	60,000 円
補助金交付申請額 (A) × 3/4 + (B) * 上限 300,000 円	YYYYYY 円もしくは 300,000 円

第 3 号様式(A)の数値を記載してください

第 3 号様式(B)の数値を記載してください

(A) × 3/4 + (B) の額と、300,000 円の
どちらか小さい額を記載してください。

○添付書類

- (1) 事業計画書 (第 2 号様式)
- (2) 事業予算書 (第 3 号様式)
- (3) 労力換算額算定書 (第 4 号様式)
- (4) 団体等の活動状況報告書 (第 5 号様式)
- (5) 団体等の規約
- (6) 団体等の役員名簿

記載例

第2号様式（第5条関係）

事業計画書

第1号様式に記載した事業名を記載

事業名 □□□事業

第1号様式に記載した申請者の名称を記載

申請者（団体・グループ）名 ●●●●の会 会長 伏見 太郎

事業の概要・目的（地域の課題，問題意識，事業が目指すもの，伏見区基本計画取組目標のどれに該当するか，計画推進のために期待できる効果など）

*必要に応じて，別紙を添付していただいても結構です。（別紙資料の有無：有・無）

誰もが理解できるよう，分かりやすく簡潔に記入してください。

事業の具体的内容・実施スケジュール

（いつ，どこで，どのような事業を，だれを対象に行うのかなど詳細に記載してください。）

年 月

●●年●●月

説明会の開催（場所○○○○，対象○○○○，参加予定人数○○）

●●年●●月

○○活動の実施（第1回）

場所◆◆◆◆ 対象◆◆◆◆ 参加予定人数◆◆名

事業内容◆◆◆◆◆◆

●●年●●月

□□□□の作成

個々の取組ごとに，現時点での予定を記載してください。

第3号様式（第5条関係）

事 業 予 算 書

事業名 □□□事業 第1号様式に記載した事業名を記載
 申請者（団体・グループ）名 ●●●●の会 会長 伏見 太郎 第1号様式に記載した申請者の名称を記載

1 収入

項 目	金 額（円）	内 訳
補助金	XXXXXX	
補助金以外に、自己資金や寄付金、参加費収入等があれば、併せて記入してください。		
下記2支出の合計と一致させてください		
合 計	XXXXXX	

2 支出

項 目	金 額（円）	内 訳
講師謝礼	○○○○○	講師●人×◎回（交通費含む）
チラシ印刷経費	◆◆◆◆◆	チラシ□□部×単価○円
 1 対象経費の内訳を具体的に記入してください。 （計画段階であっても適正な事業規模であることを確認する必要がありますので、できるだけ具体的に必要最小限で積算してください。） 2 対象外経費は記入しないでください。 		
上記1収入の合計と一致させてください		
合 計	XXXXXXXX	・・・必要事業経費（A）

*補助対象外の経費を除きます。

3 交付申請額

第4号様式の数字と一致させてください

必要事業経費（A） XXXXXXXX 円 × 3/4 + 労力換算額（B） 60,000 円
 =（交付申請額） YYYYYY 円
 *上限は30万円とする。

第4号様式（第5条関係）

労力換算額算定書

申請団体等の構成員により無償で提供される労力内容及び実施時期	金 額	内 訳 (500円×ボランティアスタッフの人数×時間数)
① 〇〇活動の実施（第1回） ●●年●●月	40,000円	500円×8名×10時間
② □□□□の作成 ●●年●●月	20,000円	500円×4名×10時間
③		
労力換算額の合計	60,000円	・・・労力換算額（B）

* 交付申請額が上限（30万円）を超えている場合は提出不要です。

* 記入欄が不足する場合には、別紙に記入して添付してください。

